

会員各位

一般社団法人徳島県トラック協会

大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検の実施について

ニュース等でご承知のことと思いますが、11月30日(木)島根県の国道において大型トラックから脱落したタイヤが歩行者に衝突し、重傷を負う事故が発生しました。また、12月1日(金)には、青森県八戸自動車道下り線においても、走行中の大型車からタイヤが脱落し、道路保全工事を行っていた作業員に衝突、1名が死亡、1名が軽傷を負う事故が発生しました。

どちらも冬用タイヤ交換直後間もなく発生した事故であり、いずれも左後輪のタイヤが脱落したようです。脱落するタイヤの90%以上が左後輪と言われており、その時期は冬用タイヤ⇄夏用タイヤへの交換が多い11月～2月が多く、最も多いのが12月のようです。

つきましては、普段から確実なタイヤ交換作業を実施いただいていることとは思いますが、この機会に改めてホイールナットの緩みの確認及びタイヤ脱着作業後の増し締めが確実に行われているかについて、保有車両の一斉点検を実施いただきますようお願い申し上げます。

【参考】

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 → タイヤ安全啓発資料

https://www.jatma.or.jp/safety_technology/tyre_safety_news.html